

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	令和の筑北村観光づくり
事業主体 (連絡先)	筑北村観光課 0263-66-2111
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,600,460円 (うち支援金: 1,273,000円)

事業内容

滞在型観光拠点としての魅力創出・PR ツールの一つとして、令和3年度に引き続き、スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーを実施した。

実施期間: 7月30日~10月31日

実施場所: 筑北村全域 (37地点)

参加人数: 250人

スタンプラリーに併せて、スタンプ地点を歩いて巡るイベントを実施した。

実施日: 10月27日

参加人数: 19人 (村内、近隣市町村からの参加)



【スタンプラリーイベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①知名度・認知度の向上
- ②滞在型拠点としての新たな魅力創出

事業効果

①スタンプラリーを実施する上で、アプリ内での村の紹介やウェブ広告での潜在層への村のPRやチラシの配布を行い、知名度・認知度の向上につながった。

アプリ内参加者: 486人

(参加の意思表示をした人を指す)

ウェブ広告表示回数: 403.7万回

ウェブ広告クリック数: 76,956回

②スタンプラリー参加者から「楽しかった」「魅力が発見できた」「また来たい」などの意見があり、スタンプラリーの実施により村の魅力創出・PRができたと感じている。

※自己評価【B】

【理由】

- ・実質参加者数は目標には達しなかったものの、多くのアプリ内参加者を獲得でき、村のPRにつながったため。
- ・参加者の意見から当初目的としていた効果が見え始めたため。

今後の取り組み

次年度もデジタルスタンプラリーを継続して実施する。スタンプラリーに併せて、歩いて巡るコースづくりやキャラクターの作成、主要観光スポットのガチャガチャの作成に取り組むことで、村のPRを図っていく。また、令和6年度以降は隣接する麻績村と連携を図りながら広域観光としての事業を検討している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある